



中国四国地区
アーカイブズ
ウィーク
第13回
明治150年 特別企画



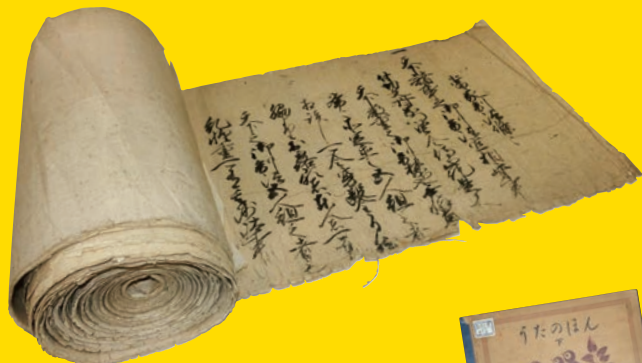
文書館 レキシノオト

～「音」で読み解く防長の歴史～

2018年 6月1日(金) - 10日(日)

※4日(土)は休館日

入場 無料



もんじょかん

山口県文書館

中国四国地区アーカイブズウィークは、
文書記録(アーカイブズ)の重要性とその保存利用をPRするため、
中国四国地区の文書館・公文書館施設が共同して毎年実施している事業です。

〈主催〉山口県文書館 〈共催〉山口県文化財愛護協会
〈後援〉全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)、山口県地方史学会

関連イベント

アーカイブズ展示

「文書館レキシノオト

～「音」で読み解く防長の歴史～

6月9日(土)・10日(日) 9:00-17:00 〈文書館閲覧室〉

ギャラリートーク

6月9日(土)・10日(日)

10:30/16:00 〈文書館閲覧室〉

文書館専門研究員が アーカイブズ展示を
解説します。

定員
各30名

歴史探究講座

「防長唱歌と県民歌にみる山口県の歴史」

講師／山本明史・和田秀作・山崎一郎(文書館専門研究員)

「図書館秘蔵の「音」で聞く時代の風景」

講師／廣重順子・仁田野茉莉(県立山口図書館)

6月9日(土) 13:30-15:30

〈県立山口図書館レクチャールーム〉

定員
250名

アーカイブズ歴史小話

6月10日(日) 13:00-15:30

〈県立山口図書館レクチャールーム〉

専門研究員が「音」で読み解く防長の歴史」
をテーマにリレー形式で研究報告します。

定員
250名

文書館書庫見学ツアー

6月1日(金) - 3日(日)・5日(火)・

7日(木)・8日(金) 10:30/14:30

6日(水)・9日(土)・10日(日) 9:30

文書館書庫を特別公開します。年1回だけの
チャンスです。

定員
各10名

文書館を使ってみよう!

6月6日(水) 13:30-15:00

〈県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室〉

文書館の利用方法をガイドします。

定員
30名

いずれも当日受付、先着順/参加無料です。

日程	6月1日(金)	6月2日(土)	6月3日(日)	6月4日(月)	6月5日(火)	6月6日(水)	6月7日(木)	6月8日(金)	6月9日(土)	6月10日(日)
アーカイブズ 展示				休 館 日					● 9:00-17:00	● 9:00-17:00
ギャラリー トーク									● 10:30/16:00	● 10:30/16:00
歴史探究 講座									● 13:30-15:30	
アーカイブズ 歴史小話										● 13:00-15:30
文書館書庫 見学ツアー	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30		● 10:30/14:30	● 9:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 9:30	● 9:30
文書館を 使ってみよう!						● 13:30-15:00				

山口県文書館 〒753-0083 山口市後河原150-1
TEL(083)924-2116 FAX(083)924-2117

WEB <http://archives.pref.yamaguchi.lg.jp/>

第13回 中国四国地区アーカイブズウィーク

◎ウィークの期間中、閲覧業務は通常どおり行います。
〈但し、6月9日(土)、10日(日)を除く〉





生活ノオト

せいかつのなかのおと



第13回 中国四国地区アーカイブズウィーク 明治150年特別企画

中国四国アーカイブズウィークは、文書記録（アーカイブズ）の重要性とその保存利用をPRするため、中国四国地区の文書館・公文書館施設が共同して毎年実施している事業です。
30年度、山口県文書館では明治150年を期に山口県の歴史を振り返り、「文書館レキシノオト～音から読み解く防長の歴史」と題して開催します。

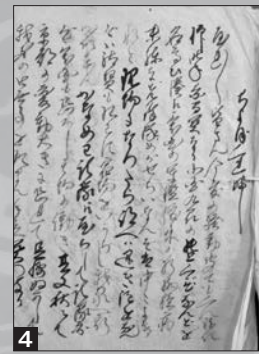
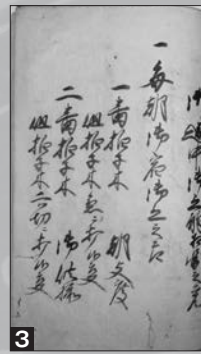
芸能ノオト

げいのう・おんがく

- 仁平寺本堂供養日記**（興隆寺文書11）
南北朝時代に周防仁平寺の本堂供養が行われた際の記録。
- 角常 世二云万歳楽**（多賀社文庫57）
山口や萩を門付けした万歳集団「かくじょう」の祭文。
- うたのほん**（教科書文庫昭和16（26））
国民学校で使用された音楽の教科書。
- 万歳画**（吉川家文書307）
門松の前でその家を寿ぐ門付けの様子。



- 行程記**（毛利家文庫30地誌57）
画面右上方に真宗端坊の「時鐘」（時の鐘）が見える。
- 防長風土注進案 殿敷村**（風土注進案361）
子どもたちが歌いながら家々を巡る「いのこ」の行事。
- 防長唱歌**（図書767）
明治34～36年、山口県内の歴史・地理をもとに作詞された唱歌。
- 四季耕作図**（紙本着色）（安部家文書1526）
田植えをする早乙女たちの後ろで男たちが賑やかに囃す。



歴史ノオト

れきしをいろどるおとやこえ

- 防長精神と選挙肅正**（一般郷土史料1168）
菊山嘉男知事の演説レコード（昭和10年）。
- 今八幡宮鰐口拓本**（内田伸探史料183）
大内氏が筑前芦屋の鋳物師に造らせたもの。
- 御帰国沙汰控**（毛利家文庫48下向17-6）
萩藩主参勤交代の道中、毎日の出発の合図。
- 美祢郡大田絵堂戦ちよぼくれ節**（塩田家文書80）
幕末期萩藩の内訌戦「大田・絵堂の戦い」をうたったもの。
- 滝部の音風景**（県庁戦前B666）
鉄道開通時の滝部駅と滝部市のにぎわい（大正14年）。
- 万治制法**（県庁伝来旧藩記録13）
毎年正月に藩士に読み聞かせる萩藩の「憲法」。

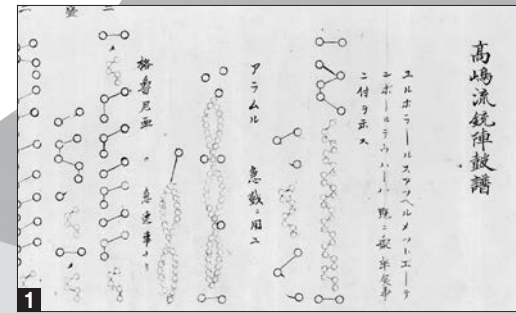


文書館

レキシノオト

～「音」で読み解く防長の歴史～

文字が特別な人たちのものであった時代、言葉の伝達は声でなされ、あるいは意味の伝達は音や光でもなされました。
音はまた、文字では伝えられないものを伝える力をもっています。
文書館は文字どおり文字の塊のようなところですが、
その中から歴史の音を聞き、人々の声を聞いてみませんか。



戦いノオト

せんじょうにひびくおと

- 高嶋流銃陣鼓譜**（奈古屋家文書395）
西洋式軍隊を指揮するためのドラムの楽譜。
- 西南戦争と電報の音**（戦前A総務380）
西南戦争の戦況を伝える新しい通信技術・電報。
- 御武具覚書**（毛利家文庫15文武59）
軍を指揮する道具のひとつ押太鼓。
- 都風流トコトンヤレぶし**（軸物類80）
戊辰戦争時の官軍の立場で歌われた流行歌。

